

寺
ごよみ

四 月

一 日 下村お講

本山ご助成会

五 日 清掃奉仕

八 日 真宗入門講座

一二日 黒西組仏婦総会

一六日 栗虫お講・花見

一九日 花つみ

花の誕生会

二〇日十時 初参式

おつとめ

記念珠贈呈

おはなし

縁日

*初参式のお申込みは十五日までにお寺へ。

三〇日 仏婦連盟教区総会

寺 報

善 巧

発 行

〒 938-0862 富 山 県
黒部市宇奈月町浦山497
白雪山 善 巧 寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975
メール info@zengyou.net
URL http://www.zengyou.net



平成二十三年四月から二十四年二月
親鸞聖人 七百五十回法要

京都本願寺

お参りでいろんな方にお会いする中、ここ一年で最もよく聞いた話は「最近の世の中は狂っている」でした。どれも、異常犯罪の報道を受けての話ですが、本当のところはどうなのでしょう。警察庁から発表された犯罪統計では、平成十九年の殺人認知件数は戦後最低を記録したそうです。これは昭和中期の半分以上という数字です。この統計は、どのマスコミも取り上げていないようで、これこそが異常なことでは、なぜマスコミは異常犯罪をくまなく拾い上げるようになったのでしょうか。それは言うまでもなく、視聴率が取れるからでしょう。それは同時に視聴者である私自身を指して、人間の一番汚い心をえぐられていくようで、情けなくなります。

また、少し前には、ひとつの事件をきっかけに飲酒運転事故のニュースが急増しました。これに関しても、警察庁の統計資料を十年単位で見てもと激減しています。もちろん、正すべきことはたくさんあるとは思いますが、指を指すのは、犯罪者でもなく、マスコミでもなく、まず、自身に指を向けるという仏教的視点が大切なのではないでしょうか。

産経新聞の社会部記者だった父隆弘の口ぐせは、「マスコミは九九・九%嘘」でした。その父が仏教に出会い、そのまま聞いていい教えがあったことに感動したのです。これは、その他にはそのまま聞くものはないと知った人の喜びでしょう。闇の中でいくらかいても闇は晴れません。仏の教えに耳を傾けてくださる仲間がひとりでも増えることを切に願っています。

善巧寺住職

雪山 俊隆

大遠忌を迎えて

本願寺司教 高田慈昭 師

親鸞聖人の七百五十回大遠忌を迎えます。五十年に一度の意義深い勝縁であります。

思えば、七百五十年たった二十一世紀の今日、数百万をこえる門信徒が聖人の遺徳をたたえて大いなる仏事を営むということは、いかに偉大な感化を後世にのこされたかというこの意味です。聖人が開顕された浄土真宗の法義は、他に類をみない絶対他力の究極の宗教的真理といえるからです。

それは、万人平等に速やかに究極の仏果涅槃にいたらしめる、まさに超世希有の正法を開示されたからであります。

地獄行きの極悪人を一人ももたず救って、速やかにいのちの安心をあたえ念仏の一法によって生

死をこえて浄土のさとりを与えしめたもう阿弥陀仏の本願力回向の法義を鮮明にされた聖人の偉業と恩徳を今更ながら感受せざるをえないからであります。

専精院鮮妙師がいわれていました、願海に眞仮を分判せらるような法眼をもたれるお方は還相の菩薩と思わざるを得ないと。やはり聖人はただ人でなく浄土からこのおみのりを伝えにきてくださったお方だと讃仰せざるをえないのであります。煩惱具足の凡夫とみきわめられた人間観の省察と、絶対他力の大悲の救済を徹視して、往相還相、教行信証の法門を確立していかれた聖人の遺教は、二十一世紀、いや永遠にこの地上に展開して人類

を潤していくことでしょう。

聖人の教えの特色は、

本願（仏の大悲の誓願）を根源的基調として展開していく二回向四法の法門であります。往相の教も行も信も証も還相摂化も、すべて如来の誓願から展開しています。聖人がしばしば「大悲の願より出でたり」とのべられているように、教えのすべてが如来大悲の誓願にもとづいて展開している法門であることを注目して味わわねばなりません。人間のねがいに先んじて、仏のねがいを基調にして、仏にねがわれてあるいのちの世界であります。この仏のねがいによって人生の根本的な課題である生老病死、愛憎違順をこえていく普遍的な仏道が聖人によって示されたのであります。

しかし今日、聖人の宗教的自覚と救いの論理がいかにすぐれて深いもの

であつても、知性的人間観にすわる近代思想と、哲学的思考を見失って現実の肉利的な思潮の中にある多くの現代人の感覚では、容易に理解し把握することが難しいものになっています。

そのためには、平易な現代的表現をもって伝道することは必須の要件ですが、単なる言語表現だけではなしに、現代人に理解しうる解釈を用いることが大切でしょう。たとえば、生死とか煩惱とか浄土、涅槃といった仏教語の意味を現代人の知性心情に理解し得られるような充分な説明が必要ではないかと思われま

す。科学技術が進歩し文明がいかに発達しても、人生の生老病死、愛憎苦悩といった本質的課題は変わりありません。

つぎに、浄土真宗の信を得ることは、仏の智慧と慈悲の全徳を領受することでありま

す。我執、自己中心の執着、この我執をきびしく批判して無我平等の生き方を学び実践し、他人の苦悩を共感して慈悲心をもつて自他平等の幸せを念じて行動するところに念仏者の生きざまが存するといわねばなりません。

「世の中安穩なれ、仏法ひろまれ」とのべられた聖人のことばは、『大無量寿経』にとかれた「仏の遊履したまふところ：天下和順し日月清明なり、風雨時をもつてし、災厲起こらず、国豊かに民安くして兵戈用あること無し。徳を崇め仁を興し、つとめて礼讓を修す」の文によられたものでしょう。

仏法のひろまるところには、念仏者の行動によって世に安穩平和が実現し、環境がととのえられ、戦争は起こらず、道徳をあげ、礼節を重んじて互いにゆずり合い支え合う、心身共に豊かな国家や社

親鸞聖人 大遠忌 750回



大遠忌スローガン 世の中安穏なれ

会が実現するであろうとのべられているのであります。

二十一世紀以来、欧米においてもようやく東洋の叡智としての仏教にめざめ、浄土真宗に帰依する人たちが増加しつつあ

ります。さらにみ教えが

浸透していくためにも、

国際的な海外開教の発展

に宗門予算を傾けて尽力

していかねばならないと

思います。

国内開教、とくに百万

人の門徒をめざして今日

最も緊要なことは首都圏

の開教であります。総人

口の約三分の一程が東京

を中心とする首都圏に集

中しており、その人口の

増加はすさまじく、しか

るに真宗寺院が最も少な

く、無宗教、精神的砂漠

といった状況をみるにつ

け、宗門が物心両面にわ

たつて周到な準備計画体

制を築いて、その推進を

はかることであります。

さらに、マスメディア

を通じて真宗を宣揚し、

社会福祉（少子化、高齢

化の問題、災害対策支援

活動、環境問題等）にか

かわる基幹運動の積極的

実践等、このたびの大遠

忌を縁として改めて自覚

実践にはげみたいことで

あります。

「世の中 安穏なれ」は、

親鸞聖人が不安と争いの時代にあつて、念仏者のめざす道を示されるなかで述べられた言葉であります。

『親鸞聖人御消息』第

二十五通往生を不定におぼしめさんひとは、まづ

わが身の往生をおぼしめ

して、御念仏候ふべし。

わが身の往生一定とおぼしめさんひとは、仏の御

恩をおぼしめさんに、御

報恩のために、御念仏こ

ころにいれて申して、世

のなか安穏なれ、仏法ひ

ろまれとおぼしめすべし

とぞ、おぼえ候ふ。よくよ

く御案候ふべし。このほ

かは、別の御はからひあるべしとおぼえず候ふ。

【現代語訳】

浄土に往生できるかど

うか不安なひとは、まづ

自らの浄土往生をお考え

になつて、念仏するのが

よいでしょう。自らの往

生は間違いないと思う人

は、仏のご恩を心に思い、

それに報いるために心を

込めて念仏し、世の中が

安穏であるように、仏法

が広まるようにと思われ

るのがよいと思います。

よくお考えになつてくだ

さい。この他に、特に何

か考えなければならぬこ

戦争への危機感やいの

ちの軽視、倫理観の欠如

などに伴う出来事が相次

ぐ現代社会にあつて、私

たち一人ひとりが自己中

心のこころを反省して、

同じいのちを生きている

相手の存在に気づくこと

が求められています。

自分一人を善として、

相手を排除する考え方に

真の安らぎはありません。

破り、対立の構図を解消

できるのは仏の智慧だけ

であります。

聖人は、仏法がひろま

り、世のなか安穏であ

ることを願われました。

そのおこころをいただい

て、宗祖の七百五十回大

遠忌を迎える今、スロー

ガンといたしました。

（本願寺）

御正忌報恩講

一月十三、十六日

例年通り一月十三日から四日間御正忌報恩講が勤まりました。

前日の準備には総代・仏婦の方々が大勢でお手伝い下さいました。串盛のお華束の見事なこと、さすが長年のキャリアです。初日のご法話は越前市森久町の林久寺転法輪正視師。昨年急逝されたお父様への思いを語りながらのお取り次ぎでした。

十四日は「釈の日」と題して法名をお持ちの方を対象に法要を勤めました。十五・十六日は福井県千福寺住職高務哲量師。浄

土真宗のおみ法を丁寧にお取り次ぎ下さいました。例年よりお参りが多かったようで、寺内一同喜んでいきます。



高務哲量師



転法輪正視師



慣れた手つきでお華束づくり。



法要中、成人式の報告に来てくれました。



みんな一緒にいただきます！



法要前には仏典アニメが上映されています。

もちつき大会

暮れの三十日、恒例の子供もちつき大会。これも三十年続いている行事です。小学一年生から六年生までがそれぞれ自分の年齢分の回数をべったんべったんともちつきをします。その後は仏婦の方々が用意してくださった具をトッピングしてお餅をいただきました。



カルタ会

一月三日これまた恒例のカルタ会が行われました。上級生は百人一首で盛り上がります。一度お手合わせなさいませんか。



雪ん子劇団 卒業公演

三月二十三日午後四時、雪ん子劇団春の定期公演が本堂お寺座で開催されました。三月に入って特訓をこなしてきた劇団員十七名。スタッフの心配をよそに素晴らしい舞台を見せてくれました。四人の卒業生が緊張の中にも精一杯の演技を見せて感動をくれました。



入善町高波被害

二月二十四日に富山湾で発生した高波で、入善町芦崎地区が甚大な被害に遭われました。翌日、三ヶ寺でご門徒さんのお宅へお見舞いに行ったところ、一軒はほぼ全壊という被害。急遽、三月一日のお講で参拝者に救済金を募り、芦崎地区の総代さんへお渡ししました。重ねてお見舞い申し上げます。



親鸞聖人750回大遠忌 宗門長期振興計画の概要

親鸞聖人 750回 法要の修行と記念行事の推進

【予算額30億円】

大遠忌法要は50年に一度のご勝縁です。親鸞聖人を偲び、お徳を讃えるため、法要の修行と記念行事の実施や記念出版物の刊行を行います。全国においても法要行事を行うとともに、主要都市で協賛行事を行い、浄土真宗のみ教えを宗門内外に弘め伝えたい。

本山の法要や各寺院で修行される法要にも、こころをこめて参拝いたします。



社会的活動の展開

【予算額15億円】

地球温暖化問題や環境問題に対応する森林育成事業の検討を進めます。また、ビハラの活動の更なる充実のために、研修・実習施設も兼ね備えた拠点施設の開設に取り組みます。

さらに、NGO等の活動にも取り組んでいくための検討を重ねていきます。



教学・伝道の振興

【予算額45億円】

教学と伝道の振興は、宗門活動の基礎となるものです。これまでの取り組みを再点検しつつ、時代に即した分かりやすく親しみやすい教学と、活みに応える伝道方策の確立に取り組み、創意工夫をこらして、新たな門徒の誕生をめざします。

同時に、新たな法要・儀礼の創設や、仏教音楽の充実をはかります。



次代を担う「人」の育成

【予算額15億円】

み教えに生きる人の育成は重要な課題です。人材の発掘と活用を促すため「人」の総合ネットワークをつくり、宗門活動に参画いただくシステムを整備するとともに、新たな人材育成機関の設置も検討します。

また、現代社会の要請に応えられる僧侶や門徒の育成に取り組みます。さらに宗教教育の充実や青少年を対象とした新たな方策をすすめます。

寺院活動の推進

【予算額37億円】

寺院は開法の道場であり、その地域に根ざした伝道活動を進めるための構想と方策を打ち出します。特に、法座活動の充実や社会の要請に応える取り組みが展開できるよう、地方や都市部などの地域性を十分に考慮した施策をすすめます。

また、「寺院振興金庫」(仮称)を創設して、寺院活動への支援に積極的に関与します。



宗務機能の整備・拡充

【予算額4億円】

本願寺境内池および大谷本願は、その周辺施設を含め、宗教的景観と機能性を重視しながら、整備と拡充を検討していきます。

さらに新たな宗務組織を確立するよう、将来展望等を検討していきます。



御影堂平成大修復



修復作業は平成十年十月から着手しており、今年十二月に完了する予定です。

「安穩」

老人ホームと、緩和ケア(ホスピス)を行う診療所を併設し、患者らの心身のケアに取り組まれます。

前進座特別公演

各会場で本願寺所蔵の法宝物をはじめ数々の歴史的・文化的遺産が展示されます。

京都からのメッセージ

昨年、本願寺から発刊された新聞「安穩」は、平成二十三年まで年二回の計十回、皆様のもとへお送りされます。

法然上人八百周年大遠忌・親鸞聖人七百五十回大遠忌を記念し、劇団前進座による特別公演「法然と親鸞」が、京都公演を皮切りに平成二十二年四月まで、全国各地で上演されます。

ビハラ総合施設

本願寺展

仏教を背景にした終末期医療の拠点として、「ビハラ総合施設」が京都府城陽市に建設されました。特別養護

札幌・名古屋・金沢・広島・徳島・福岡の六都市において、平成十九年の福岡会場を皮切りに平成二十二年まで、

他にも、龍谷大学との共同事業「仏教博物館の建設」や「障壁画などのデジタルアーカイブ化」など様々な事業が進められています。

親鸞聖人七百五十回大遠忌。京都本願寺にて、

平成二十三年四月から二十四年一月勤修されます。

その後、善巧寺でも法要が予定されています。

七百五十回大遠忌へのご寄進誠にありがとうございました。ご懇志はこのように活用されています。

子や孫に本願寺ミニお仏壇を

新学期、県外へ出られるお子さんお孫さんをお持ちの方も多いかと思いますが。寮・下宿・マンション・アパートにお仏壇をご安置しましょう。タンスなどの上に置ける小さなお仏壇です。一人の生活の中にも手を合わせる時間が大切です。下記のとおり、本山からお取り寄せ出来ます。お寺でも受付けておりますので、是非プレゼントしてあげてください。

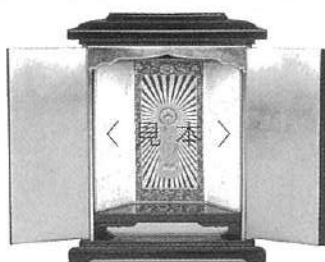
ミニお仏壇

いちよう：冥加金三万円
きく …… 二万円
送料 千五百円

詳細・お問合せ先

浄土真宗本願寺派
本願寺参拝部法物係
〒六〇〇—八三五八
京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派宗務所
TEL〇七五—三七一一
五一八一

縦 24cm
横 19cm



「いちよう」

縦 17.2cm
横 10.3cm



「きく」

新制定ご本尊

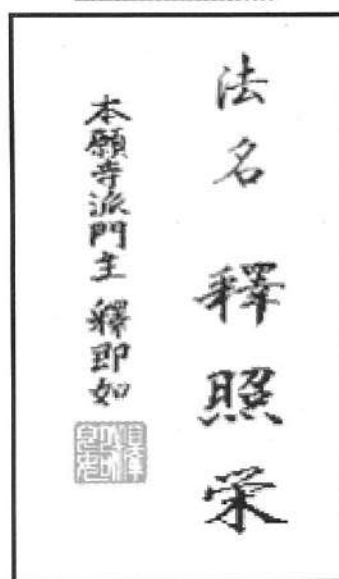
法名は生きている間にびりびり

法名とは、主に京都の西本願寺（本山）で行われる帰敬式を受けた人に対してご門主から授与されるもので「仏教徒としての自覚を持つて生きる」証しの名前です。死んでからの名前ではありません。亡くなった時に、その方に法名がない場合お寺からご門主の代理として法名をつけ、葬儀に臨むケースもありますが、それはあくまで緊急の処置ということをご理解下さい。

まだ法名をいただいていないご門徒は、できるだけ早い機会に帰敬式をお受けください。

タイミングとしては、京都へ納骨される場合、是非その機会に重ねてどうぞ。帰敬式は本願寺で、特定日を除いて毎日朝のおつとめ後（六時、冬季は六時半）と午後一時半から行われます。懇志一万円。詳しくはお寺までご連絡下さい。

法名



本願寺派門主釋即如



寺
ごよみ

五 月

一日 音沢お講①

八日 真宗入門講座

一日 仏教団花まつり

一六日 音沢お講②

一八日 総代会

寺
ごよみ

六 月

一日 東狐・上野お講

八日 仏舎利塔法要

八日 真宗入門講座

一六日 音沢お講③



花まつり

～いのちをよめるこぶし～
初参式
赤ちゃんの誕生を祝う
初参式（しよさんしき）
を受けられる方は、15日
までに善巧寺（65-0255）
へご連絡ください。

バイオリンコンサート
AM11:00～演奏：野崎弘通
演奏はスロイバー・アクト1のエン
ディングテーマや短歌の真似などをお楽しみ
いただける野崎弘通
さん。宮内子爵
邸の音楽会にも
参加済み。わた
しがしやさんご
の縁日にお楽しみ
ください。

対象は生後
100日～
参加費は、
3000円。

4/20 日 午前10時
会場：白雲山善巧寺/雨天決行

善巧寺 善巧寺ホームページ

第三十二回 花まつり ～花の誕生会～

四月二十日 十時

花まつりとは、お釈迦さまの誕生日（四月八日）。善巧寺では、花まつりに合わせて、赤ちゃんの誕生を祝う「初参式」を行います。赤ちゃんが生まれたらまずお寺で初参り。今年の縁日ミニコンサートのゲストはバイオリンニストの野崎弘通さん。チューリップに囲まれて、ステキな音色に包まれながら、新しいいのちをみんなで祝いましょう。

受付は九時半
冥加金三千円
ご連絡は十五日まで



浄土真宗入門講座

仏教入門講座

今年の仏教入門講座は「浄土真宗入門講座」です。内容は、仏壇や法事の作法から、浄土真宗の教えの基礎などです。月一回の計六回講座に是非ご参加ください。

講師：雪山俊隆、玲子
会費：一回五百円
時間：午後八時から
＊初回は四月八日（火）です。

本山助成会

四月一日午後一時半
講師：三崎霊証師

総代会 教化推進協議会

五月十八日午後一時

花まつり

四月五日午前八時半
（雨天順延）

花つみ

四月十九日
午前八時集合

花まつり

花の会が中心となって
コーラスで初参式に花を
添えます。参加ご希望の
方は一報ください。
リハーサル：四月十九日
午後七時半

コーラス参加者募集

合 掌

我らがご本山では平成の大修復も大詰めを迎え、着々と完成に向かっていきます。二十三年から二十四年にわたって勤修される大遠忌の計画も進んでいます。善巧寺でも大遠忌の準備にかかります。今の皆さんだ世の中なればこそまことの言葉を聞いていかねばなりません。

＊ ＊ ＊

トップ面に掲載した文章はインターネットにあった記事を参考にしていきます。詳細まで調べ尽くしていない世間のニュースを口にするのはよくないと教わっていますが、今回は特例ということでご理解願います。

ただ念仏のみぞまことにておはします
歎異抄

子や孫に是非一声を！ 善巧寺ホームページ <http://www.zengyou.net>